

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年2月5日(2009.2.5)

【公開番号】特開2007-175129(P2007-175129A)

【公開日】平成19年7月12日(2007.7.12)

【年通号数】公開・登録公報2007-026

【出願番号】特願2005-374374(P2005-374374)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 V

A 6 3 F 5/04 5 1 2 C

【手続補正書】

【提出日】平成20年12月15日(2008.12.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

始動操作手段の操作に起因して複数の識別情報を可変表示するとともに、停止操作手段の操作に起因して可変表示を停止する可変表示手段を備え、

前記可変表示手段にて所定領域に停止された識別情報が特定識別情報である場合には所定の遊技価値を付与する遊技機であって、

遊技機前面側において遊技球を貯留可能な球貯留手段と、

前記球貯留手段から遊技球を取込可能な取込手段と、

前記遊技価値の付与として前記球貯留手段へ遊技球を払出可能な払出手段とを備え、

前記取込手段により所定数の遊技球が取込まれた場合に遊技開始可能となる構成とともに、

不正対象物又は当該不正対象物へ連通する通路部の遊技機前面側への露出を抑えるようなくとも一部が遊技機前面側に露出した状態で配置されるカバー手段と、

前記カバー手段の非露出面に対し光を当てる発光手段とを備え、

前記カバー手段を、遮光性を有する遮光手段により構成したことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

始動操作手段の操作に起因して複数の識別情報を可変表示するとともに、停止操作手段の操作に起因して可変表示を停止する可変表示手段を備え、

前記可変表示手段にて所定領域に停止された識別情報が特定識別情報である場合には所定の遊技価値を付与する遊技機であって、

遊技機前面側において遊技球を貯留可能な球貯留手段と、

前記球貯留手段から遊技球を取込可能な取込手段と、

前記遊技価値の付与として前記球貯留手段へ遊技球を払出可能な払出手段とを備え、

前記取込手段により所定数の遊技球が取込まれた場合に遊技開始可能となる構成とし、前記球貯留手段の少なくとも一部が、遊技機前面側を構成する前面体の前面部より奥方に配置されるとともに、

前記球貯留手段の上方位置において発光手段を配置し、

前記球貯留手段のうち少なくとも前記前面体の前面部より奥方に配置される部分の上部を覆うカバー体を備え、

前記カバー体の少なくとも一部を、遮光性を有する遮光手段により構成したことを特徴とする遊技機。

【請求項3】

前記カバー体の少なくとも一部を、透光性を有する透光手段により構成したことを特徴とする請求項2に記載の遊技機。

【請求項4】

前記球貯留手段は、前記取込手段へ遊技球を導出する導出部を備え、

前記カバー体は、前記導出部の上方位置において当該カバー体の本体部に対し着脱自在に取付けられる導出部カバー体を備え、

前記導出部カバー体を前記遮光手段としたことを特徴とする請求項2又は3に記載の遊技機。